

一般廃棄物処理施設整備基本構想に係るパブリックコメントの意見・回答

NO	いただいたご意見	ご意見に対する考え方（回答）
1	<p>はじめに 近年一般廃棄物処理施設においては、脱炭素社会の取組みに向けた技術革新等の進展が著しく、このような技術を最大限活用するためには人口規模が最低でも10万人程度が望ましく、中津川市との広域化は理想であると考えます。</p> <p>用地選定 廃棄物処理施設にあつては、地域住民に取って迷惑施設として捉えられ、行政側が還元施設等の設置を約束しても合意に至らないケースが多い。 以前、韓国釜山市のごみ焼却施設を視察した際には、焼却施設の隣地に公営住宅を建設し発生した蒸気によるオンドル暖房を行って焼却施設を中心としたコミュニティが構築されていた。又、東京都武蔵野市に於いては、市街地にある市庁舎隣地に焼却施設を建設し、発生する公害値を連続公開し20年以上に亘り問題なく運営されている。</p> <p>以上のことから私案として、恵那市榎ヶ根公園や中津川市運動公園等の隣接地に建設し、既存のスポーツ施設等を再整備、新たに廃熱利用の温水プール等を建設して市民の健康増進に資する施設としてほしい。又、粗大ごみ処理施設、リサイクル施設は同一敷地内に建設し業務の効率化を計り、最終処分場は別途山間部等に建設して搬入渋滞の緩和を図ることを期待する。</p> <p>機種選定 現状を鑑みて以下の機種が適切と考える。 ◇ストーカ方式 …運転技術が確立されており、国内における焼却施設において、多く採用されている。 ◇流動床方式 …下水汚泥等、様々なものを処理する場合、有効的と考えられている。 現状では上記2機種方式が主流であるが、何れも廃熱ボイラーを備え高圧蒸気による熱利用、発電設備による有効活用を図りたい。 一方で、既存施設である2機種方式は、以下の理由から適切ではないと考える。 ◇ガス化溶融焼却炉</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>・用地選定は、地域合意のうえで施設整備に関する理解、協力を得て進めることが重要と考えています。整備用地の選定については、中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会において「公募」で進める方針を決定し、令和7年4月に募集を開始する予定です。廃棄物の処理工程で発生する排熱を回収し、エネルギーとして利用することで、災害対策や環境啓発の拠点、憩いの場として、地域に新たな価値をもたらすことができることから、廃棄物処理施設の多面的価値の創出により、地域の魅力向上や課題解決が可能になると考えます。また、リサイクル施設及び最終処分場を整備する場所については、応募いただいた地域の意向を確認したうえで検討します。</p> <p>・機種選定は、ごみ処理技術の動向に加え、カーボンニュートラルへの対応などを検討した上で、最適な機種（処理システム）の選定を目指します。</p> <p>・粗大ごみ処理施設・リサイクル施設、最終処分場、工事発注及び脱炭素の取組みに関するご意見については、今後、基本構想に基づき、広域ごみ処理施設の内容を具体的に定める「施設整備基本計画」を策定する際の参考とさせていただきます。</p> <p>施設整備については、中津川市民および恵那市民が利用しやすい施設を目指してまいります。</p>

…溶融過程で電気を消費している事もあり、経済的でない。昨今、建設事例が少ないと聞いている。

◇RDF 化施設

…昨今、建設事例はなく、灯油等を使用する事から環境負荷が高い。

粗大ごみ処理施設・リサイクル施設

以下の処理が適切と考える。

日量 30 トン程度の破砕機を設置し可燃物、金属、不燃物に分別する。リサイクル施設は排出者責任で分別を徹底しストックヤードを設置して貯留、回収業者引取りとする。

さらに、昨今リチウムイオン電池による火災が社会問題となっている事から、分別収集を行い別途処理することが好ましい。

最終処分場

以下の処理が適切と考える。

広大な面積を要する事と搬入渋滞緩和のため、別途山間部等に設置。完全管理型とし悪臭対策、排水処理設備を供える。悪臭対策としては、公共事業建設残土や焼却残渣により覆土を行う。

その他

安全安心で地域住民のための施設となるべく、以下を要望する。

◇造成工事等、地域内の企業で対応可能な業務は、別途発注し、地域産業の活性化を図る。

◇昨今の物価上昇を加味し、安かろう悪かろうとならないよう、適正な事業費とする。

おわりに

脱炭素社会に於ける事業活動では、発生した二酸化炭素の総量を如何に相殺するかが重要だと考える。その手法として建築構造物屋上への太陽光パネルの設置、熱・電気といったエネルギーを地域で使用する事により市民へ還元し脱炭素と併せて理解を得る事が重要と考える。

以上